

特集 挑戦！ たちばな就活生

02 ワタシたちの就職活動

04 内定者に聞く就職活動

08 京都橘大学のキャリア教育

10 インターンシップで働く
イメージを明確に！

11 キャリアメイトが活躍

12 News & Topics

Tachibana Being vol.94

Web **TB**

WebTBはさらに充実

<http://www2.tachibana-u.ac.jp/webtb>

January 2019

photo: Ai Hirano

就職を希望する学生が必ず経験しなければならないもの、それが就職活動(就活)です。先輩たちはどのような目標をもって就活に臨み、それを通して何を感じ、何を得たのでしょうか。内定を獲得したお2人に詳しくお話をうかがいました。

自分の選ぶ道で
後悔はしたくない！
強い気持ちで内定獲得。

かざはや
風早 雄登 さん
人間発達学部
英語コミュニケーション学科 4回生
(現 国際英語学部国際英語学科)
株式会社 伊藤園 内定

失敗から学ぶ、
チャンスを逃さないための準備

私は就職先を選ぶ条件として、自分が本当に働きたいと思える企業や海外で仕事ができる可能性が高い企業にこだわって就活をしました。実際にここで働くんだというイメージを持ち、強い気持ちで臨んでいました。

自己分析やESの書き方は就活サイトで調べたり、アルバイト先の先輩に相談しました。SPI対策では、大学の授業「キャリア開発演習」などを受講し、苦手な数学を克服しました。面接では相手の目をしっかり見て、はきはきと話すことを心掛けていました。どんな場面でも積極的に行動することや、海外留学で培ったコミュニケーション能力をアピールしました。就活での大きな失敗は、伊藤園の面接試験で、準備不足のため質問に答えることができなかったことです。「もう一度、機会をいただけるなら必ず勉強して即答します」と熱意を伝え、辞めました。試験終了後はすぐに勉強に取り掛かり、どんな質問でも答えられるよう企業研究を徹底的に行いました。後日、最終面接の通知が届いた時は、このチャンスを逃さないようにと心に決め面接に備えました。

「自分の選んだ道で後悔したくない」という思いで挑んだ就活でした。就職後の目標は、自分の力を伸ばし、海外で仕事することです。世界で活躍できるように頑張りたいです。

風早 雄登 さん
株式会社 伊藤園 内定

Webエントリー数	32 社
ESを提出した社数	20 社
企業説明会に参加した社数	2 社
合同説明会に参加した回数	1 回

my 就活 item

折り畳み傘&
ヘアワックス・粘着クリーナー

折り畳み傘は、カバンに携帯しておけば、急な天候の変化でもスーツが汚れず安心です。身だしなみも就活では大事なポイントです。面接前には、髪の毛とスーツの汚れをチェックし、いつもきちんとしていました。



積極的に行動あるのみ！
熱意とバイタリティで
就活を楽しむ。

あやせ
多喜 彩生 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4 回生
コクヨ株式会社 内定

就活は自分自身の成長につながる
貴重な時間

普段から行動派の私は、就活でも積極的に動くことをモットーにしていました。就活を始めた頃は、就きたい仕事のイメージができていなかったのですが、業界を問わずインターンシップに参加して、企業を知ることや就活の雰囲気をつかむようにしました。企業説明会では、人事の方に直接質問することで、その企業の魅力を感じることができました。また、就活中に知り合った、他大学の学生との情報交換も役立ちました。キャリアセンターでは、2人のスタッフの方に担当していただきました。異なる視点や意見をもらうことで、ESの内容検討や面接に臨むときに、とても参考になりました。

就活が進むにつれ、B to B(企業間取引引きの)仕事がないと考えるようになりました。コクヨを選んだのは、オフィス全体をプロデュースする法人向けの事業に魅力を感じたからです。快適に働けるオフィス空間をつくり、そこで働く人のため、企業の発展のために貢献したいと思いました。面接では、会社に対する私見や熱意をきちんと伝えることを心掛けたことが、評価につながったのだと思います。

就活を通して、私は成長することができました。悩む時期もありましたが、とても貴重な時間を過ごすことができました。皆さんも自分のペースで楽しんで、やり切ってほしいと思います。

多喜 彩生 さん
コクヨ株式会社 内定

Webエントリー数	50 社
ESを提出した社数	30 社
企業説明会に参加した社数	20 社
合同説明会に参加した回数	5 回

my 就活 item

就活ノート&
スケジュール帳

ノートはESの内容をメモして、面接前にチェックしていました。スケジュール帳には、お気に入りの付箋を貼ったりして気分を高めながら、しっかりスケジュール管理をしていました。



就活Message

内定者に聞く就職活動

先輩たちはどのような準備をして就職活動に臨んだのでしょうか。大学の就職支援をどのように活用したのでしょうか。
希望の就職先に内定した先輩たちからのメッセージをお届けします。



前 詩織 さん
人間発達学部
英語コミュニケーション学科 4 回生
(現 国際英語学部国際英語学科)

ローム株式会社 内定
Webエントリー数
ESを提出した社数
企業説明会に参加した社数
合同説明会に参加した回数
40 社
20 社
30 社
5 回

自分を知ってもらうことが大切

就活を意識し始めた当初は、将来像が明確にならずに悩んでいました。そこでキャリアセンターに通いESのベース作りや自己分析を丁寧に進めるうちに、好きな京都で、人の役に立つ仕事をしたいと考えるようになりました。

志望企業のほとんどで筆記試験があり、特にSPは問題集を繰り返し解いて勉強し、万全の準備で臨みました。面接では最初のうちは、気負いすぎて自分らしさがあまり発揮できませんでした。経験を重ねることで緊張はなくなり、上手に話す必要はなくて、本来の自分を知ってもらうことが大切だと気づき、自然体で話せるようになりました。

就活中はキャリアセンターに、とてもお世話になりました。面接対策では、自分に足りないもの、自分では気づけなかった長所を見つけてもらい、的確なアドバイスをもらいました。落ち込んだときも話をすることで、前向きに就活をすることができました。

人の幸せに寄り添う仕事を

「人の人生や幸せに関わる仕事」に就きたいと思い、就活をしてきました。三井ホームのオーダーメイドの注文住宅など、お客様の希望どおりの家をつくる「人生と幸せに寄り添う仕事だ」と思い、自分の希望と合致すると思いました。企業研究にあたっては、住宅展示場実際に足を運びました。直接スタッフの方にお話を伺うことで、企業理念や事業内容が明確になり、自分自身を大きく成長させてくれる会社だと感じました。現在は、入社に備えて、宅地建物取引士の資格取得のために猛勉強中です。

就活で苦労したのは面接です。プレゼンテーション力をつけるために、関連する書籍を読んで実践することで克服、自信が持てるようになりました。

私にとって就活は、自分を見つめ直すいい機会になりました。気づいていなかった長所や短所を知ることができ、一人の人間として成長できたことが最大の収穫です。希望する企業に就職するために努力したことは、うまくいっても、いかなくても自分自身の力になると思います。



慎野 晶雄 さん
現代ビジネス学部
経営学科 4 回生

三井ホーム株式会社 内定
Webエントリー数
ESを提出した社数
企業説明会に参加した社数
合同説明会に参加した回数
9 社
9 社
9 社
3 回

英語力を活かせる仕事に

就活をスタートしたのは3 回生の4 月頃です。直前まで海外留学をしていたので、少し焦りもあり、キャリアセンターに相談しました。キャリアメイトの活動にも参加して、情報を集めることから始めました。

学生生活で培った英語力を活かせる接客業を希望していました。航空会社を志望したのは、企業説明会で訪れた空港見学での印象がとても良かったからです。航空会社のスタッフの方たちの立ち振る舞いやホスピタリティに感動しました。就活では、同業他社を受けていたので、業界への志望動機と各企業で働く自身のイメージを明確に持ち、採用試験に臨んでいました。また、面接では、留学やよさこいサークルで得た経験や強みをわかりやすく伝えるように意識しました。あきらめない、妥協しないをモットーに就活をしました。うまくいかず落ち込む時もありましたが、キャリアセンターや家族、友人など周囲のサポートもあって乗り越えることができました。感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張ります。



杉山 日菜子 さん
人間発達学部
英語コミュニケーション学科 4 回生
(現 国際英語学部国際英語学科)

株式会社 ANA 関西空港 内定
Webエントリー数
ESを提出した社数
企業説明会に参加した社数
合同説明会に参加した回数
18 社
18 社
12 社
2 回



石原 綾華 さん
現代ビジネス学部
経営学科 4 回生

株式会社ワコール 内定
Webエントリー数
ESを提出した社数
企業説明会に参加した社数
合同説明会に参加した回数
22 社
10 社
14 社
7 回

大学生活の経験と成長を活かす

就活を通じて学んだことは、第一印象の大切さと傾聴する姿勢です。説明会でも、メモを取るよりもお話を聞くことで、良い印象をもってもらえたことを人事の方に言われたことがあります。それと大学生活で取り組んだ活動が活かされたということです。私は、学生時代は、いろいろなことにチャレンジすることをテーマに行動していました。それは大学祭実行委員会を3年間続けたことや海外研修、企業の課題に取り組む課題解決型学習(PBL)への参加などです。これらの活動が就活につながり、面接では話題に困ったことはありませんでした。

それでも就活では、キャリアセンターの存在がとても大きな助けになりました。個人面談、履歴書やESの添削など、励ましの言葉や的確なアドバイスをたくさんもらいました。私もワコールで、身体や下着に悩みを持つ人に、しっかりと寄り添えるアドバイザーになりたいと思います。

Uターン就職で地元貢献

地元岡山県でのUターン就職をめざし、3 回生の夏頃から就活を始めました。地元で気になる企業があれば説明会やインターシップに行き、自分の目で見て、企業への理解を深めました。

中国銀行で働きたいと思ったのは、銀行内の雰囲気良かったことや、学生のことをきちんと見てくれることでした。選考が進むにつれ、徹底した企業研究はもちろん、同行が参加する合同説明会にはすべて足を運びました。説明会に行くごとに事業への理解が深まりました。顔も覚えてもらえ、面接でも落ち着いて話せました。入行後は、お客様から信頼される行員になりたいです。

就活中はESの添削から面接指導まで、大学のキャリアセンターをフル活用しました。これから就活を始める皆さんには企業に足を運び、自分の目で見ることで、そこから第一志望を明確に決めて、そこに向かってコツコツと頑張っていきたいです。



小泉 優 さん
文学部
日本語日本文学科 4 回生

株式会社中国銀行 内定
Webエントリー数
ESを提出した社数
企業説明会に参加した社数
合同説明会に参加した回数
31 社
11 社
7 社
6 回

企業理念に共感し、成長を確信

就活では、業界は絞らず、興味をもった業界の中でやってみたいと思うことが実現できそうな企業を何社かエントリーしました。サイバーエージェントを志望したのは、代表の方の理念や生き方に共感したこと、主力事業である広告に興味があったからです。営業の第一線で活躍できる人材になりたいと思いました。また、面接で話した私が描く将来の展望を理解してくれたことも、さらにこの会社で働きたいと思った理由です。高い目標掲げて、仕事に取り組める環境があるこの会社ならどの部署であっても自分自身の成長につながると思いました。

面接では、自分の強みや経験が面接官にしっかりと伝わるように、話し方を工夫しました。また、即答できない質問に対しては、素直に考える時間をいただき、丁寧に答えることを心掛けました。さまざまな経験を経て成長した自分をアピールできたことが、内定につながったのではないかと思います。



平井 直樹 さん
文学部
歴史学科 4 回生

株式会社サイバーエージェント 内定
Webエントリー数
20 社
ESを提出した社数
12 社
企業説明会に参加した社数
12 社
合同説明会に参加した回数
2 回

地域振興を軸に広い視野で就活

「地元の島根県の振興に携わる仕事がしたい」と考えていました。当初は地域振興Ⅱ地域に住んで地域を盛り上げることと考え、県内の行政職や企業を中心にリターン就職をめざしていました。でも、ある時、お世話になっていたジヨブカフェの方から「地域振興は公務員でなくてもできるよ」とアドバイスをもらったことで、視野が一気に広がりました。地域の外から、地域に人を引き寄せるのも地域振興と考え、西日本旅客鉄道に志望しました。入社後は列車の運転業務に携わる乗務員として、勤務する予定です。頑張って勉強し、早く運転士として乗務したいです。

就活で大切なのは、ブレない軸を決めることだと思います。私の場合はそれが「地域振興」でした。そして、企業や仕事を選ぶときは、多角的に見ることが大事です。いろいろな人の意見や情報を取り入れて、自分に合う仕事を見つけてほしいと思います。



加納 英実 さん
文学部
日本語日本文学科 4 回生

西日本旅客鉄道株式会社 内定
Webエントリー数
0 社
ESを提出した社数
3 社
企業説明会に参加した社数
1 社
合同説明会に参加した回数
3 回



塚谷 早英 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4 回生

クリナップ株式会社 内定
Webエントリー数
30 社
ESを提出した社数
15 社
企業説明会に参加した社数
30 社
合同説明会に参加した回数
3 回

納得のいくまで就活をする

私は、人と関わる仕事、住宅に関係する仕事に就きたいと考えていて、少しでも気になる会社があれば、企業説明会に積極的に参加しました。自分に合う、働きたいと思える会社を探すうちに、クリナップに出会いました。クリナップは、チームワークを大事にしていること、そして、職場の風通しの良さを感じ、長く仕事を続けられる、また、いろいろな人と協力をして仕事ができると思いました。入社後は、ショールームアドバイザーとして勤務します。お客様はもちろん、社員からも信頼されるアドバイザーになりたいと思います。

大変なこともあった就活でしたが、楽しかったというのが正直な感想です。自分と向き合うことができ、自分の進むべき道が明確になり、満足のいく就活ができました。これから就活に臨む皆さんにも、自分の軸をしっかりともち、妥協せずに頑張ってくださいと思います。



鈴木 春菜 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4 回生

株式会社JTBBビジネストラベルリユニオンズ 内定
Webエントリー数
80 社
ESを提出した社数
30 社
企業説明会に参加した社数
55 社
合同説明会に参加した回数
3 回

自分の言葉で熱意を伝える

大学で観光を学んでいたことや旅行が好きだったこともあり、旅行業界で働きたいと思いました。JTBBビジネストラベルリユニオンズは、法人向けの出張関連業務を行う会社です。企業活動を支える出張旅程の快適性を追求してみたいこと、また、業界を問わずさまざまなお客様と接することができると思い志望しました。面接で気をつけていたのは、自分の言葉で話すことです。大切なのは、伝えたいという気持ちを見せることだと思います。面接官からは、熱心な気持ち伝わってきたとのフィードバックがあり、とてもうれしかったです。

あきらめずに就活をやって、良かったなと思います。しんどいと感じるときや、焦り、不安を感じるときが就活中は必ずあります。上手に息抜きしながら、自分のペースでコツコツと努力を積み重ねていくことが大事だと思います。

大学で得られた強みをアピール

以前からメイクや化粧品に興味があり、百貨店で店舗展開している化粧品メーカーを中心にエントリーしました。企業研究では、各会社の商品の強みや特徴、人気のある商品などを、ネット情報はもちろん、実際に使用している友人などに話を聞き、調べました。また、店舗にも足を運び、接客の様子を見たりしました。内定をいただくまで焦ることもあり、モチベーションを保つのに苦労しましたが、友人と遊んだり、好きな音楽を聴いたりして気持ちを切替えながら乗り越えました。

緊張すると早口になってしまうので、キャリアセンターの方のアドバイスも受けて、面接ではゆっくりはっきり話すことを心掛けました。そうすることで心に余裕がもて、書道部の部長を務めた経験から得たリーダーシップを取る力と、協調性の大切さをしっかりとアピールすることができました。



上神 くるみ さん
文学部
日本語日本文学科 4 回生

資生堂ジャパン株式会社 内定
Webエントリー数
20 社
ESを提出した社数
16 社
企業説明会に参加した社数
9 社
合同説明会に参加した回数
1 回

積極的な行動が大切

「郵便は、人と人の思いをつなぐ大切な仕事」と思ったことや店舗訪問で親身な対応を受けて、日本郵便を志望しました。入後は主に配達業務を担当する予定です。将来は若者向けの商品企画などにも携わっていきたいと考えています。

就活ではSPと面接対策に力を入れました。SPは、大学の対策講座を受講したり、参考書で勉強しました。面接は、キャリアセンターの模擬面接で練習しました。また、1日かけて行われる個人面接、グループディスカッション、グループ面接の練習ができる講座で課題を改善していきました。就活を始める前は、自分がどんな仕事に向いているのかイメージできませんでした。説明会やインターンシップに参加したり、四季報を読んだり、積極的に行動することで、やりたい仕事が明確になっていきました。後輩には、あきらめずに最後まで頑張ってください。



吉田 天馬 さん
現代ビジネス学部
経営学科 4 回生

日本郵便株式会社 内定
Webエントリー数
52 社
ESを提出した社数
14 社
企業説明会に参加した社数
30 社
合同説明会に参加した回数
4 回

就活生を万全の協力体制でバックアップ 就職支援プログラム

個別サポートはもちろん、就職活動に関わる多様な支援プログラムを展開しています。

キャリアアドバイザーによる個別指導



3回生になると、志望業界や進路先に応じてキャリアセンターの担当アドバイザーを自由に決めることができます。大手民間企業の人事部門で経験を積んだアドバイザーの的確な助言・指導を多くの学生が受けています。

多彩なガイダンスと実践講座



1回生から各種の就職活動準備講座やガイダンスを開催。筆記試験対策や面接試験対策、ビジネスマナーなど実践的な講座を繰り返し行っています。また、企業の人事担当者を招いて業界別講演会や学内合同企業説明会なども実施しています。

懇談会等で教職員と父母が連携



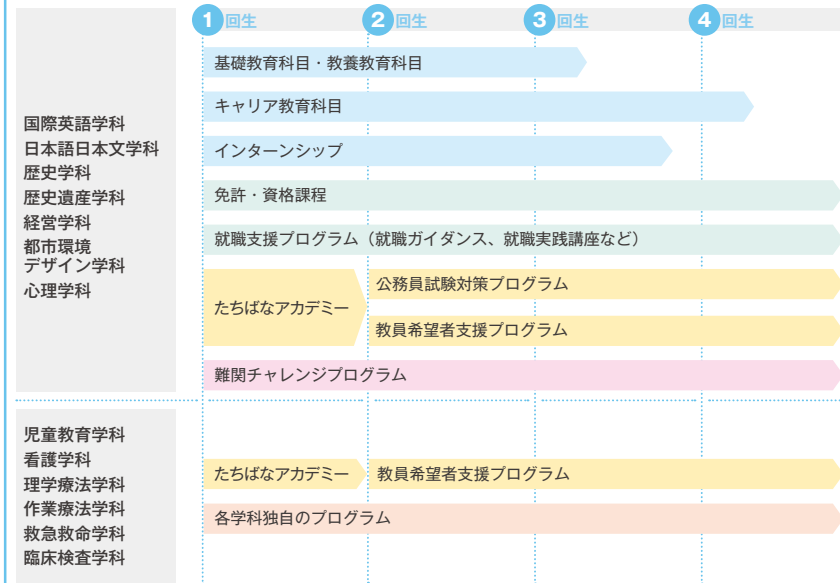
大学と家庭が連携して就職支援を行うために、本学では毎年父母の会総会や、地区別懇談会の場で「就職懇談会」を開催しています。就職活動状況の報告、子どもとの接し方など、幅広く情報交換や共有を行い、総合的に学生を支援します。

就活オリターが下回生を支援



4回生就職内定者が就活オリターとなって、就職ガイダンスやキャリア系科目において下回生に体験談を語り、相談等にも対応します。また就活座談会を定期的に実施して、不安や疑問などを気軽に解消できる機会を設けています。

4年間のキャリア教育の流れ



京都橋大学の 学部・学科構成

- 国際英語学部**
●国際英語学科
(2017年4月、人間発達学部
英語コミュニケーション学科を改組)
- 文学部**
●日本語日本文学科
●歴史学科
●歴史遺産学科
- 発達教育学部**
●児童教育学科
(2017年4月、人間発達学部
児童教育学科を改組)
- 現代ビジネス学部**
●経営学科
(2015年4月、現代マネジメント学科を改組)
●都市環境デザイン学科
- 看護学部**
●看護学科
- 健康科学部**
●心理学科
●理学療法学科
●作業療法学科(2018年4月開設)
●救急救命学科(2016年4月開設)
●臨床検査学科(2018年4月開設)

実社会で必要な能力を段階的に習得 キャリア形成プログラム

社会人として必要な教養やコミュニケーション能力などを、1回生から段階的に養成。基礎・教養教育から具体的な希望に基づいたキャリア教育、インターンシップまで充実した内容になっています。卒業時には、実社会で通用する高度な問題解決能力、情報収集力、論理的思考力などが身につくようサポートしています。

就職試験に向けた基礎力講座 たちばなアカデミー

就職活動で希望の進路をつかむために、就職試験に向けて社会人基礎力を身につける1回生独自の対策講座です。民間企業や公務員など、就職支援全般に必要な不可欠な知識の基礎について学習していきます。その後、2回生、3回生へと公務員や就職対策講座と広がり、幅広い進路に導くプログラムとなっています。

専門性の高い資格・職種へのサポート 各学科独自のプログラム

全学部共通の基礎的な共通科目が履修可能です。さらに専門性の高い資格、職種をめざす学生を支えるため、看護学部と健康科学部では、各学科独自の支援プログラムを展開しています。基礎的能力の育成から国家試験対策まで、それぞれの専門性の高い職種やキャリアデザインに応じたサポートを充実させています。

グローバル企業をめざす学生を支援 難関チャレンジプログラム

留学生との交流や海外体験プログラム、海外インターンシップなどの異文化体験を積極的に行っています。現地（英語圏・アジア圏等）での企業見学・体験はもちろん、国内でもさまざまなプログラムでグローバル企業への就職をサポートしています。また、採用選考における最重点項目であるSPI試験や筆記試験の対策も行っています。

PICK UP

公務員試験支援センター

試験対策や各種情報の提供はもちろん、図書コーナーや学習スペースを備え、公務員をめざす学生へのサポートを行っています。

あなたの就職活動への 初めの一歩を応援します



学生部長
発達教育学部
児童教育学科
倉持 祐二 教授

キャリアセンターは、皆さんが目指すキャリアづくりを進めるための支援をしています。京都橋大学は支援のためのプログラムを二つ用意しています。一つは、1回生からの所属学科の特性に応じたキャリア形成のプログラム、もう一つは、実際の就職支援プログラムです。

本学では、2回生を中心とした単位認定型のインターンシップをカリキュラムの中に位置づけて取り組んでいます。実際の就業を体験した学生から「社会人になるための課題が見つかった」「仕事をするとどういふことを具体的に学んだか」が良かったという声を多く聞いています。

自分自身でキャリア形成を進めるためには、まず自分で動くことです。動かないと周りの状況はわかりませんし、自分の立ち位置も変わりません。第一歩はキャリアセンターのカウンターからです。気軽に訪ねて来てほしいと思います。

低回生から実施する インターンシップで 働くイメージを明確に！



小塩 菜月 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 3 回生

戸田建設で充実の10日間！

住宅や建築物の施工管理に興味があり、建設会社でのインターンシップを希望していました。戸田建設株式会社は医療・教育施設をはじめとした公共施設や集合住宅・商業施設など、全国で幅広く事業を展開している点に魅力を感じ、応募しました。

研修期間は10日間。営業所内での書類作成や社内会議の見学、営業同行、建設現場での業務など、さまざまな研修を受けることができました。

研修の中でもとても勉強になったのは、ある



施設に設置する「授乳室」の提案に関われたことです。営業の方から聞いた概要を元に、お子さんのいる女性社員の方の意見も聞きながら、設ける位置や形状について、自分なりにまとめました。その後、お客様との打ち合せにも同席させていただき、建設現場にも同行し、実際に設置する場所を見ることができました。そして、営業の方のアドバイスを受け、イメージ図などを付けて提案資料として仕上げました。

研修後半の5日間は、主に京都嵐山に建設中の美術館で行いました。最初に建設現場を丁寧案内していただき、職人の方との打ち合わせや意匠設計者の方との会議にも参加しました。現場に入る大勢の人たちに、円滑に、効率的に、何より安全に作業をしてもらう施工管理の仕事は、大変ですがやりがいがある仕事だと思いました。多くの人が連携して一つの建築物をつくり上げていく過程を見ることができ、とても貴重な経験になりました。

インターンシップを終えて

建設業界の仕事を感じることができた充実した10日間になりました。どの研修も楽しく、学ぶことが多くありました。特に、あらゆる場面においてコミュニケーションの重要性を再認識しました。社員同士やお客様と

インターンシップってなに？

インターンシップとは、学生が在学中に自分の専攻・将来の仕事に関連した企業などで一定期間就業体験をすることです。本学では「事前研修」「就業体験」「事後研修」を一つの講座とし、本学が協定を締結している企業、行政、NPO法人、図書館、公共施設等で単位認定型インターンシップを行っています。

の会話はもちろん、業者の方や職人の方への指示・交渉といった際にも、高いコミュニケーション能力が求められることを実感しました。私には建設会社はハードルが高いと思いますが、今回インターンシップに参加したことで、建設会社で働きたいという意欲が増しました。この経験を活かして頑張りたいです。

企業担当者コメント



戸田建設株式会社 大阪支店
京滋総合営業所 営業課
大友 暢子 さん

インターンシップの目的は、仕事内容を少しでも理解してもらうことです。すぐに戦力として働いてもらうのは難しいので、現場の仕事を体験してもらい、会社や業界を知るきっかけになればと思っています。短期間なので、会社の本質を見極めることはできないと思いますが、自分の感性を信じて疑問点や不明点を積極的に聞く姿勢が大切だと思います。就職活動は、自分を見つめなおす機会になります。OB・OGや人事の方の話を聞いて、視野を広くもち、やりたいことを見つけてください。そして、最終的には自分が納得して決めることが大切です。頑張ってください。

就活をサポート

京都橋大学では、学生がほかの学生の就活を積極的にサポートする取り組みを行っています。

キャリアメイトが活躍

学生による学生のための 就活サポート！

2018年度キャリアメイトを志望した2・3回生21人が毎週木曜日にミーティングや就活イベントの運営準備を行っています。

今年度は全25のプログラムを受講。グループワークや企業研究、ビジネスマナー研修などが行われました。例年11月に行われる学内業界別講演会「キャリアフェア in TACHIBANA」は、キャリアメイトが参加依頼のための企業訪問から、本学学生に向けての広報活動、実施準備、当日の運営まですべてを担います。今年は29社の企業や自治体の参加を予定しています。企業と学生をつなぐ有意義な場になるよう準備を進めています。また、12月には業界別に企業の人事担当者を招いての「選考対策講座」を開催します。第1部はパネルディスカッション、第2部は座談会を実施します。どちらも学生が人事担当者の考えをより詳しく聞けることで、仕事内容の理解が深まる貴重な機会になるように企画しています。

キャリアメイトは、これらの就活イベントの企画・運営のため多くの人と関わることで、責任感や職業観を養い、自身の成長につなげていきます。

活動を通して成長を実感！



初井 臨太郎 さん
文学部
日本語日文学科 3 回生

2回生からキャリアメイトの活動に参加。今年は、「選考対策講座」への参加依頼のための企業訪問を主に担当しています。参加依頼は決して簡単ではありませんが、就活イベントの意義と熱意を伝えることで、今年も多くの企業に賛同いただいています。活動は就活に活かせるだけでなく、チーム運営の方法やビジネスマナーを学ぶことができるので、社会人に必要なスキルも得られます。活動に参加したことで、自分の成長にもつながり、学生生活がとても充実したものになっています。



石井 佑菜 さん
現代ビジネス学部
経営学科 3 回生

昨年のキャリアフェアに参加した際、すべて学生が主体となって運営していることに驚き、私もやってみたいと思ったのがキャリアメイトになったきっかけです。希望通り、キャリアフェアの担当になり、開催までのスケジュール管理や企業訪問を積極的に行っています。キャリアメイトの活動をするまでは、一人で抱え込んでいましたが、キャリアメイトには何でも相談できます。そして、さまざまなことを一緒に解決していける心強い仲間ができました。活動を通して、責任感はもちろん、チームワークを大切に動けるようになりました。



2018年度キャリアメイト。



イベント告知チラシ制作の様子。



「キャリアフェア in TACHIBANA」の打ち合せの様子。

キャリアメイトってなに？

キャリアメイトは、ゼミとキャリアセンターをつなぐパイプ役。現在各学科から3回生を中心に21人が集まり、在学生への就活情報の提供や就活イベントの開催など、さまざまな取り組みを行っています。

学生書道のグランプリ 「全日本高校・大学生書道展」で優秀校を獲得



学生書道のグランプリを選ぶ「第23回全日本高校・大学生書道展」(公益社団法人日本書芸院・読売新聞社主催)の入賞者が発表され、本学は団体賞の優秀校(大学の部)を獲得しました。

個人賞では、本学から最高賞の書道展大賞3点をはじめ、書道展賞に34点、優秀賞に18点が選ばれました。大賞を受賞したのは、次の3人です。

【漢字部門】坪田 馨さん(文学部日本語日本文学科書道コース3年生)

【かな部門】加藤 則子さん(文学部日本語日本文学科書道コース2年生)

【調和体部門】山口 明愛さん(文学部日本語日本文学科書道コース3年生)

吹奏楽部が 京都府吹奏楽コンクール金賞を受賞



本学吹奏楽部が、8月9日(木)に京都コンサートホールで開催された京都府吹奏楽コンクール大学の部において金賞を受賞しました。課題曲では「吹奏楽のための『フルツ』」、自由曲では「華麗なる舞曲」を演奏しました。同コンクールにおける金賞の受賞は今回で11回目となります。

冊子『こだわり市場』を発刊！ 学生目線で京都のこだわり店舗を紹介

都市環境デザイン学科の谷口知司教授のゼミで観光学を学ぶ学生2・3年生が、冊子『こだわり市場 2018. 春』を発刊しました。本冊子は、京都でこだわりの商品をつくり、扱っているお店を多くの人に知ってもらおうという想いからスタート。2013年の発刊以来、今回で5冊目となります。お店探しから、取材、撮影、広報までを学生が行い、今回掲載の22店舗はすべて新規開拓です。京都の観光案内所やホテルなどで配布中。また、冊子と連動したWebサイト「こだわり市場」も、卒業生の協力により、更新しています。なお、この取り組みは、本学が京都市の「学まち連携大学」促進事業に採択された事業の一環として行われました。



こだわり市場Webサイト <http://www.kodawari-ichiba.net/>

地方自治体と連携し、 U・Iターン就職支援を強化

出身地が関西圏以外の学生も多い本学では、地元へのUターン就職、および地元以外へのIターン就職を希望する学生を強力サポート。2018年10月現在で、21県1市との就職協定の締結・連携を結んでいます。

【協定自治体】長野・島根・滋賀・石川・群馬・愛媛・和歌山・福岡・新潟・岐阜・鳥取・京都
【連携自治体】富山・静岡・三重・広島・岡山・香川・山口・高知・京都府綾部市・福井

(締結日順)